	工業喜笑	 専門学校		 開講年度	平成31年度 (2	2010年度)	授業科目	工学実験	 : Π		
		寸 门于仅			十八八八十八八八	2019年/支)	1又未行口		; ш		
科目基礎情報 科目番号 0028						科目区分 専門 / 必修					
授業形態		実験				単位の種別と単位					
開設学科						対象学年					
開設期		前期	制御情報工学科				4	5			
<u> </u>	**	実験テキ	マト記	布		週時間数	7				
担当教員	42)			刊 田 至,小林 與							
<u>這一級員</u> 到達目標		10.21 E	71,7-17571	1 1 7777 K	生,凡旅安						
実験装置 【教育目標	置を安全・通票】A、C、I	D、E		を行い、結 、D – 2 、	果の整理・考察をし E – 2	て報告書にまとめ	ることができる。	,			
ルーブリ	リック		ı								
			理想	息的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レ	未到達レベルの目安		
評価項目			して	[実験を行い	安全・適切に使用 、実験結果を整理 までに報告書を提	実験装置を安全・適切に使用して 実験を行い、実験結果を整理・考 察して報告書を提出できる。			置を安全・適切に使用して きず、実験結果を整理・考 報告書を提出できない。		
学科の至	連目標項	目との関	•								
(A-2)	(C-3)	(D-2) (E-2)								
教育方法	法等										
概要		としてま	とめる	0	則、流体、熱、CA		門科目で学んだ	事柄について	理解を深め、	実験報告書	
授業の進め	か方・方法				マを数名のグループ [*] する実験テーマが異						
注意点		。 【事前学 実験の復 実験価方へ 実験である。詳	学習】 受習法の ででででいる ででででいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	について配すること。 価基準】 組み態度とも 1 回目の授	再実験等の指示を受 布された実験テキス 報告書により評価する。協力 されたかを評価する。	トを読み実験手順 る。実験態度の評 して実験に取り組	等を把握しておっ 価配分は全体の: み、報告書の提出	くこと。前回 2 0 %以内と Hにより専門	実験の報告書 し実験担当者	を作成し、	
授業計画	 3i	C-1/1+0		7K EU C 27	ライで23 CFT 画 7 D		() <u>NTC+DD</u>	NC 7 00			
	1	週	授業内	 容			週ごとの到達目	 標			
		1週	実験ガイダンス				実験上の注意事項が理解できる。				
		2週	A. 引張試験				引張変形を与えた場合の挙動と各種数値を理解できる。				
		3週	B. 粗	lさ試験			粗さに関わるパラメータを理解・算出できる。				
		4週	文献調	 査(再実験)		実験C、Dの予習、実験A、Bを報告書としてまとめられる。				
	1stQ	5週	C. 熱	k伝導解析実	験		IC基盤の温度分布を求め物理的意味を考察することができる。				
前期		6週	D. 周波数応答実験				周波数応答と過渡応答が計算できる。				
		7週	文献調	査(再実験))		実験E、Fの予習、実験C、Dを報告書としてまとめ られる。				
		8週	E. 放射線測定実験				放射線の基本的知識を理解し、放射線測定装置が使える。				
		9週	F. 流体実験				管路を流れる流体のエネルギー損失の計算ができる。				
	2ndQ	10週		<u> </u>)		実験G、H、Iの予習、実験E、Fを報告書としてまとめられる。				
		11週	G. 液	面制御実験	3		ショルる。 実験装置の伝達関数を求めることができる。				
		12週	†	AD/CA		CADでのモデル構築後、			CAMでの加工ができる。		
		13週	I. t	ンサ実験			各種センサの基本的な特性を理解し、利用方法を考察 できる。				
		14週	再実験 (公認欠席時の実験)								
		15週	まとめ				授業を振り返り、様々な実験について考えるこ			えることがで	
		16週					きる。				
	_ ファサッ!!チ		৴ ☆ ᠈᠈ └	カ宓 レ피아	5日堙		I				
モナル	ュバルリチ			内容と到達 学習内容		·			到達レベル	拉茶油	
				学習内容	学習内容の到達目標 計測の定義と種類を説明できる。				判底レ/ソル	1又未炟	
		分野			計測の完美レ種類				2		
		分野				を説明できる。	かきを説明できる	z	3		
分類	分野別 <i>の</i>			計測制御	測定誤差の原因と	を説明できる。 種類、精度と不確			3		
分類	門工学)		計測制御		を説明できる。 種類、精度と不確					
	門工学)		計測制御	測定誤差の原因と	を説明できる。 種類、精度と不確 を理解し、SI単位	およびSI接頭語を	を説明できる	3		

		実験の内容をレポートにまとめることができ、口頭でも説明できる。				4	
評価割合							
			実験		合計		
総合評価割合	ì		100		100		
実験遂行能力)		100		100		